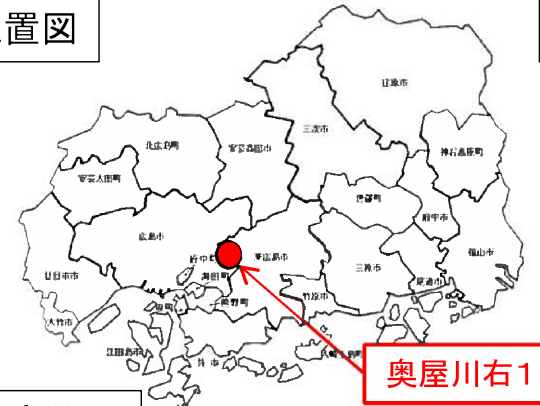


【奥屋川右1】再度災害防止に係る施設整備の完了について

平成30年7月豪雨に伴い、東広島市志和町奥屋において発生した土砂災害（土石流）に対して、広島県が実施している再度災害防止事業について、再度災害防止に係る施設の整備が完了しました。（令和2年9月30日）

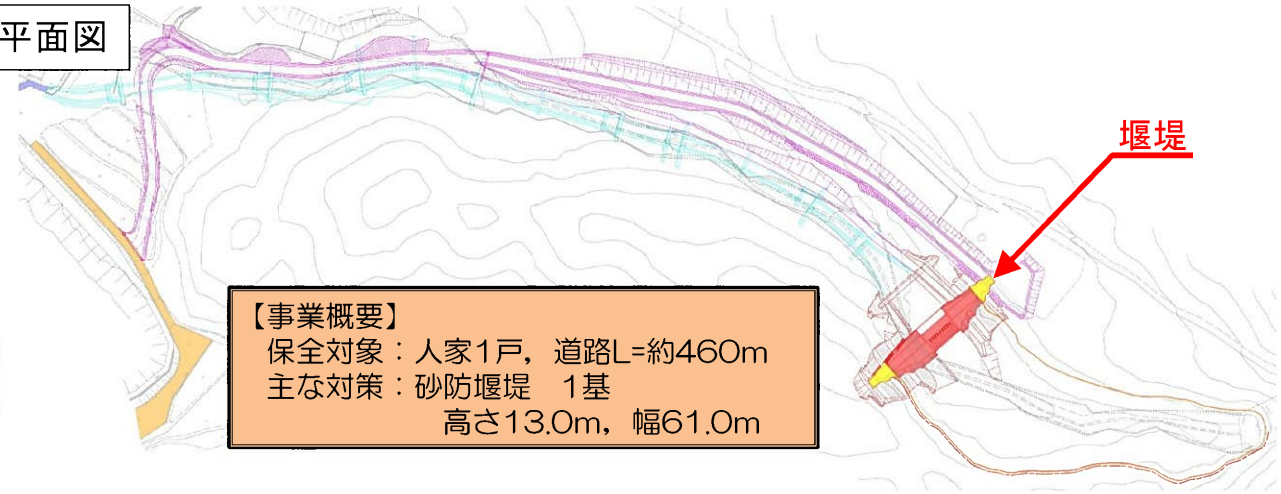
引き続き、地域の安全確保のため、堰堤周辺部の工事を実施します。

位置図



奥屋川右1

平面図



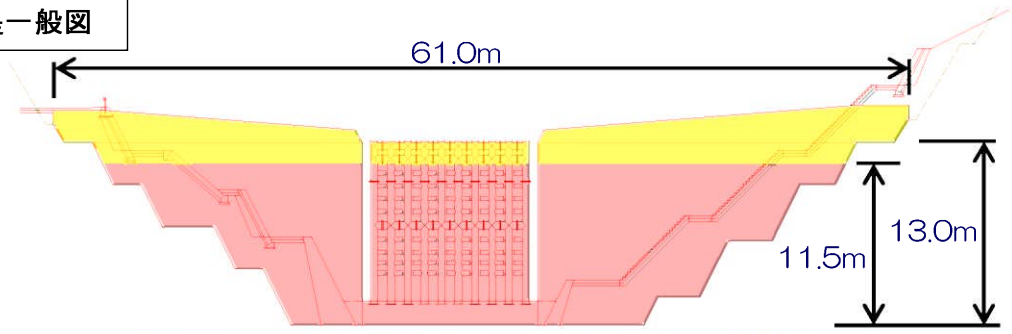
【事業概要】
保全対象：人家1戸，道路L=約460m
主な対策：砂防堰堤 1基
高さ13.0m，幅61.0m

被害状況



【被害状況】
土砂災害発生日：平成30年7月7日
半壊：1戸
市道：約40m
山陽自動車道：約30m

堰堤一般図



■進捗状況



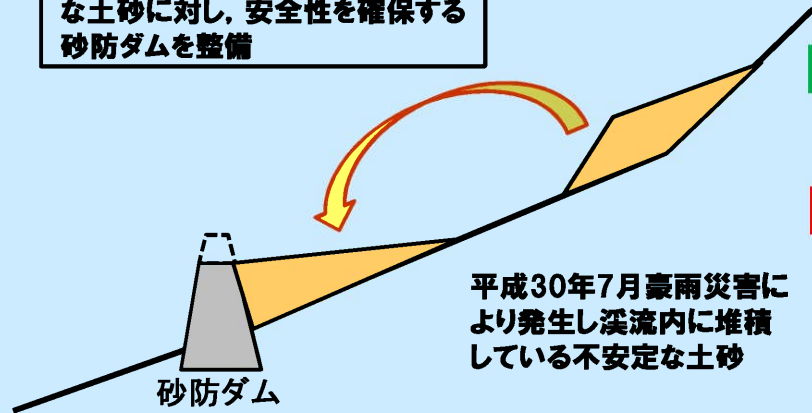
工事完了
(令和2年9月30日)

■ 災害関連緊急砂防事業
■ 砂防激甚災害対策特別緊急事業

設計：株式会社有明測量開発社
施工：株式会社上垣組
発注：西部建設事務所東広島支所

緊急事業

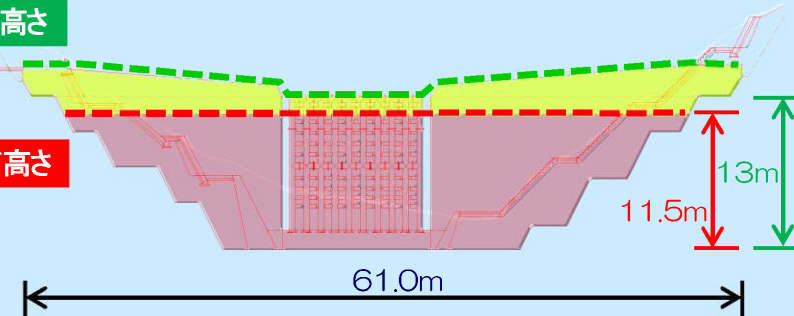
豪雨災害により発生した不安定な土砂に対し、安全性を確保する砂防ダムを整備



奥屋川右1砂防ダム

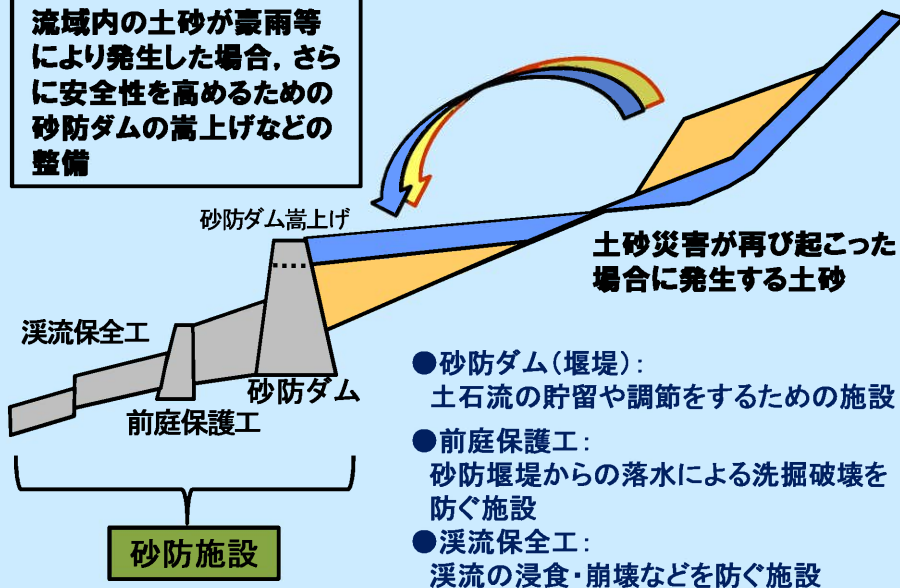
砂防ダム完了高さ

緊急事業完了高さ

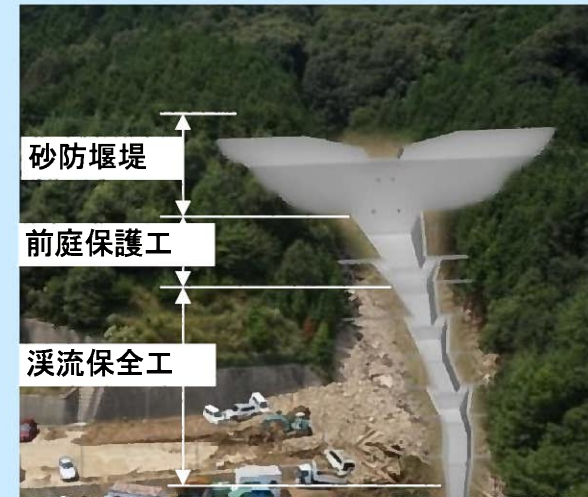


引き続き行う 流域の安全性を高めるための砂防事業

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための砂防ダムの嵩上げなどの整備



- 砂防ダム(堰堤): 土石流の貯留や調節をするための施設
- 前庭保護工: 砂防堰堤からの落水による洗掘破壊を防ぐ施設
- 溪流保全工: 溪流の浸食・崩壊などを防ぐ施設



砂防施設完成イメージ